

科目名	健康生活看護学実習(母性)			ナンバリング	PEN351	授業形態	実習
対象学年	3年	開講時期	前期・後期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	久米美代子	担当教員	鈴木久美子、瀬戸愛子				

授業の概要	ライフスタイルの多様性を踏まえ、妊産褥婦および新生児の生理的変化と心理的・社会的特徴を理解するために、女性のライフサイクルにおける支援の場に参加し、母性看護における看護職としての役割について学修する。また、地域で生活する女性の健康支援や子育て支援の実状を理解する。特に、周産期における母子とその家族に対する援助を通して、より健康な生活に向けた看護実践能力を身につけ、加えて母子とその家族に必要な母性看護の役割について学修する。
到達目標	1.身体精神面から妊産褥婦および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。 2.身体精神面から新生児および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。 3.家族・社会の側面から妊産褥婦および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。 4.家族・社会の側面から新生児および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	・これまでに学修した生涯発達看護学(母性)、健康生活看護学(母性概論および母性援助)を復習し積極的に臨みましょう。 ・実習オリエンテーションを受け、健康生活看護学実習(母性)要項を熟読して臨みましょう。 ・身体面・精神面での健康管理に留意し、欠席が無いようにしましょう。
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】
	<input type="radio"/> 1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
	<input type="radio"/> 2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。
	<input type="radio"/> 3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
	<input type="radio"/> 4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
	<input type="radio"/> 5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
健康生活看護学実習(母性)評価表の評価規準「レベルB(ただしBがない場合はC)」及び実習態度「3」	健康生活看護学実習(母性)評価表の評価規準「レベルA」及び実習態度「4」

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
実習記録	○	○	○				80%
総括レポート	○	○	○				加点はしない 減点となることがある
実習態度・実習への参加			○	○	○		20%

課題、評価のフィードバック	実習評価は、要請があればいつでも開示する
---------------	----------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回		健康生活看護学実習(母性)実習要項に準じる	
	第2回			
	第3回			
	第4回			
	第5回			
	第6回			
	第7回			
	第8回			
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
試験				
授業の進め方				
授業外学習の指示		(授業外学習時間: 毎週 分)		

教科書	横尾京子他(2017):ナースングラフィカ母性看護学① 母性看護実践の基本. 大阪府. 株式会社メディカ出版. 太田操(2017):ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程第3版. 医歯薬出版株式会社
参考書	実習内で適宜紹介する
参考URLなど	特になし
その他	特になし